

小鹿野町 議会だより

第64号

令和3年11月1日発行

発行/小鹿野町議会
編集/議会だより編集委員会
埼玉県秩父郡小鹿野町小鹿野89番地



自然と地域のみなさんにありがとう。稲も私も成長したよ。
～長若小学校 米作り活動～

Contents

9月定例会	②～④
9月臨時会	④
審議結果一覧	⑤
一般質問	⑤～⑧

9月定例会では、令和2年度各会計決算を審議し、9月臨時会では、役場庁舎建設の工事請負契約の締結についてを審議しました。

第6回9月定例会

会期9月8日～10日

本議会では、令和2年度一般会計等の決算審査をはじめ、町長提出議案15件、議員発議1件が上程されました。慎重審議のうえ、全ての議案を可決しました。

一般会計・特別会計決算

一般会計の歳入は95億3499万3千円で前年度比22億2933万5千円(30.5%)の増、歳出が87億9064万2千円で前年度比19億7336万8千円(28.9%)の増となり、実質収支額は6億6682万4千円の黒字決算となりました。

また、特別会計はすべての会計で黒字決算となりました。

●主な質疑

住民基本台帳関係事務費

決算額520万2003円

Q コンビニでの各種証明書発行の枚数とそれに伴う経費について。

A コンビニで交付した証明書は住民票が103枚、印鑑証明が119枚です。支出としてはコンビニ交付基本システム使用料や証明書発行業務の負担金等で336万1557円です。

●主な質疑

医学生修学資金貸付事業費

決算額420万円

Q 実際に利用している人数について。

A 令和2年度現在で、医学生が1名、看護学生が1名です。看護学生は令和3年度で卒業見込みとなり、令和4年4月から町立病院に就職予定です。

【討論】(要約)

【原案に反対】 9番 岩田 和幸

反対の理由として第一に水道関係です。簡易水道など色々な問題があります。平成28年度から今年度も秩父広域市町村圏組合へ支払った場合、予算ベースの合計で約10億円出すこととなります。あと数年で小鹿野浄水場を残すことができる計算になります。水道統合の時に、企業会計であるから一般会計から繰出せないため、統合するのだという説明でした。町民の皆さんが騙されているのではないかと思えます。

次に落葉松峠の台風19号の災害による復旧工事についてです。あまりにも時間がかかり過ぎていると思います。国とのやり取りに費やした期間は少し緊張感に欠けていたと思うのです。

褒めておきたいこともあります。去年の給食、配食、食事券等コロナの対策についてはご苦労様と言っておきたいと思えます。

しかし先ほど申し上げた事やプレーパークなど色々な問題があるため、本決算認定に反対いたします。

【原案に賛成】 1番 笠原 義行

本決算について、決算書、決算審査意見書に目を通し、本日の説明及び質疑に対する答弁を踏まえ、特段問題のないものと理解しました。多くの新型コロナ対策事業も積極的に展開し、町内の事業者の方々の負担を少しでも和らげるため、迅速に行動し、事業化できたことは大変評価したいと存じます。

人口減少が進む中、それに加えコロナ禍等、今後ますます厳しくなる状況で、職員一人一人が各事業の目的やその事業が町民にどのように影響するのかを十分に理解し、職務に当たっていただきたいと思えます。

コロナの影響に加え、人口減少や過疎に拍車がかかり、先行きは決して明るいととは言えません。しかし、数十年に一度あるかないかの危機を嘆いても仕方ありません。全国どこの地域も順風満帆な地域なんかありません。こんな時期に歯を食いしばり、ピンチをチャンスと捉え、失敗を恐れず、果敢に挑戦していかなければ、この厳しい地域間競争を勝ち抜くことはできないと思えます。職員が一致団結し、今以上に色んなことへチャレンジし、小鹿野町のために尽力いただくことを信じ賛成します。

【原案に反対】

7番 出浦 正夫

地方行政の予算執行に当たっては、その予算内容が全て駄目というような事はありません。その方向性が極めて大事だということに私は考えております。

今、私達の小鹿野町で最も焦眉の課題はコロナの感染を一刻も早く収束して、元通りの生活に戻すことだと思います。さらに、ひしひしと迫って来る人口減少で、ついには人口が1万1千人を切りました。本年度産まれてくる子供は多分20人と言われていきます。予想より遥かに早いスピードで人口減少が進んでいます。これをどう抑えて次の世代に小鹿野町を繋げていくかという事は、今生きている私達の責任だと思います。それには子育て支援が大事です。国民健康保険税も約260万円の措置で全ての子供の均等割を免除することができます。

また、今必要な事は役場庁舎の建設に巨額の費用を投入することではなく、町の基幹産業である農林業にもっとお金を注ぎ、働く場所を作り、若者に希望を与え、他所からも来ていただくことが大事だと思います。

小鹿野町が存亡の危機に立っている時に、もっと正しいお金の使い方があるのではないかと考える訳です。そういう目でこの決算案を見ると非常に不十分だと思います。以上のことから反対します。

事業会計決算

病院事業

医業収益は、新型コロナウイルス感染症等の影響により、10億488万8812円で前年度比7157万8936円(6.6%)の減となりました。しかし、新型コロナ対策関係の交付金が支給されたこと、また事業費用が前年度より減少しているため、収益的収支は7009万433円の黒字決算となりました。

国民宿舎事業

新型コロナウイルス感染症拡大による外出自粛等の影響により、消費税抜きでの総事業収益が1億7630万2029円で前年度比1018万2417円(5.5%)の減で、純損失は96万7022円の赤字決算となりました。

条例新設

小鹿野町道の駅両神温泉薬師の湯条例

地域資源活用センター、両神ふれあいセンター、温泉浴場「薬師の湯」、両神農林産物直売所等を道の駅として一体化し、指定管理者による管理体制を導入するための条例です。



条例改正

小鹿野町みどりの村関連施設条例の全部を改正する条例

みどりの村施設の整備を行い、使用実態に合わせるため、また、指定管理者による管理体制を導入するための改正です。



両神農林産物直売所



みどりの村若者センター

人事案件

人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて

次の者を適任者と認めました。

石川 久子 氏

意見書の提出

コロナ禍による厳しい財政状況に対処し地方税財源の充実を求める意見書

提出者 高橋 謙治

賛成者 加藤 喜一 笠原 義行

出浦 正夫 岩田 和幸

議員発議による「コロナ禍による厳しい財政状況に対処し地方税財源の充実を求める意見書案」が提出され、全会一致で可決しました。

意見書の内容は、新型コロナウイルス感染症の影響により、厳しい状況の地方財政に対処するため、国に地方交付税等の一般財源総額の確保・充実を強く求めるものです。可決された意見書は、内閣総理大臣ほか関係行政庁に提出しました。

第7回9月臨時会

会期9月30日

本臨時会では、町長提出議案として工事請負契約の締結について等、2件が上程され、慎重審議のうえ全て可決しました。

工事請負契約の締結

新庁舎建設の工事です。大成・高橋特定建設工事共同企業体と1億7590万円で購入契約を行いました。

【討論】（要約）

【原案に反対】

9番 岩田 和幸

庁舎建設事業を緊急事態宣言下の中、臨時会を開いて決定すべきなのか疑問です。また、来月には小鹿野町議員選挙があります。新しい任期後の臨時会で新しい議員に決めてもらえば良いと思います。理由として、私達の任期中に終わる工事なら私たちが判断しても良いが、来年12月までの工期ですので、次の議員の判断に任せ、その後の工事のチェックもしていただくことが良いと思うからです。よって、本案に反対いたします。

【原案に賛成】

1番 笠原 義行

庁舎建設事業は、ほぼ工程スケジュール通りに進んでおり、本議案もこの計画に沿って進めるよう本臨時会に提出されたものと認識しています。質疑の中には、新型コロナウイルスの影響を考え先延ばしすべきだとの指摘もありましたが、そうした場合、どんな効果があり、町民にどんなメリットがあるのかなど、具体的な提案等がされておらず、

協議に至るすべもないのではないのでしょうか。また、今まで庁舎建設計画に関する予算等の議案が粛々と可決されている点も考えなければなりません。そして庁舎建設には多くの業者が関わっており、新型コロナウイルスで苦しんでいる業者の状況を考えてもしっかりと計画通りに進めていかなければなりません。是非とも、この素晴らしいプロジェクトを成功させ、新たな小鹿野町のスタートとするためにも皆様方のご賛同をお願いします。以上の点から賛成します。

【原案に反対】

7番 出浦 正夫

私は当初旧三田川中学校を3、4億円掛ければ恥ずかしくない庁舎ができると主張して参りました。しかし、旧小鹿野庁舎のあった場所に建設するという方向で論議は進められて来ました。現在使用している両神庁舎は非常に使い勝手の良い建物に造られています。このままでも十分機能を果たしていると考えます。今、町で大事にするべき課題は少子化対策と産業育成です。そこにお金を掛けるべきです。町長は両神庁舎を総合支所として残すつもりはないと断言しました。この議案が可決されると両神庁舎はいずれ解体されます。新庁舎が出来ても、住民の福祉の向上と産業の育成が進むというふうには考えられません。以上から反対します。

予算・条例等の審議結果

(○は賛成、●は反対した議員)

議案名	議員名	笠原義行	高橋謙治	齋藤維	山中豊彦	猪野武雄	出浦正夫	岩田和幸	加藤喜一	黒澤光司	強矢好光
小鹿野町道の駅両神温泉薬師の湯条例		○	○	○	○	○	○	○	○	-	○
小鹿野町みどりの村関連施設条例の全部を改正する条例		○	○	○	○	○	○	○	○	-	○
小鹿野町手数料徴収条例の一部を改正する条例		○	○	○	○	○	○	○	○	-	○
小鹿野町公の施設における指定管理者の指定手続等に関する条例の一部を改正する条例		○	○	○	○	○	○	○	○	-	○
小鹿野町過疎地域自立促進特別事業基金条例の一部を改正する条例		○	○	○	○	○	○	○	○	-	○
令和3年度小鹿野町一般会計補正予算(第4号)		○	○	○	○	○	○	○	○	-	○
令和3年度小鹿野町後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)		○	○	○	○	○	○	○	○	-	○
人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて(石川 久子氏)		○	○	○	○	○	○	○	○	-	○
令和2年度小鹿野町一般会計歳入歳出決算の認定について		○	○	○	●	○	●	●	○	-	○
令和2年度小鹿野町国民健康保険特別会計歳入歳出決算の認定について		○	○	○	○	○	○	○	○	-	○
令和2年度小鹿野町後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の認定について		○	○	○	○	○	○	○	○	-	○
令和2年度小鹿野町介護保険特別会計歳入歳出決算の認定について		○	○	○	○	○	○	○	○	-	○
令和2年度小鹿野町浄化槽設置管理等特別会計歳入歳出決算の認定について		○	○	○	○	○	○	○	○	-	○
令和2年度国民健康保険町立小鹿野中央病院事業会計利益の処分及び決算の認定について		○	○	○	○	○	○	○	○	-	○
令和2年度小鹿野町営国民宿舎事業会計利益の処分及び決算の認定について		○	○	○	○	○	○	○	○	-	○
コロナ禍による厳しい財政状況に対処し地方税財源の充実を求める意見書案		○	○	○	○	○	○	○	○	-	○
臨時9月 9時 会月	令和3年度小鹿野町一般会計補正予算(第5号)	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○
	工事請負契約の締結について(役場庁舎建設工事)	○	○	○	●	○	●	●	○	-	○

※ 黒澤光司議員は議長のため採決に加わっていません。

※ 条例の内容については町ホームページの「小鹿野町例規集」でご確認いただけます。

町政に対する一般質問

一般質問一覧(質問順)

<p>猪野 武雄</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コロナ対策に関して ・福祉及び教育行政に関して ・災害対策に関して ・幹線道路等の整備に関して ・公衆トイレの整備と観光振興に関して ・有害鳥獣対策について 	<p>齋藤 維</p> <ul style="list-style-type: none"> ・移住促進について ・子育て支援について
<p>岩田 和幸</p> <ul style="list-style-type: none"> ・町道704号線(落葉松峠)について ・新型コロナについて ・町の所有している建物等の管理について ・プレーパークについて ・道路網について 	<p>高橋 謙治</p> <ul style="list-style-type: none"> ・町民の声を活かす町政推進について ・住民サービスの向上について ・消防・防災対策について
<p>笠原 義行</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生徒児童の交通安全対策について ・コロナ禍における今後の学校運営について ・住民サービスについて ・新庁舎建設について ・新型コロナウイルス感染症対策について 	<p>出浦 正夫</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染症対策について ・子育て支援について ・障害者支援について ・豪雨対策について ・行政組織について <p>○掲載希望のあった議員の一般質問の要約を掲載しています。</p>

町政に対する一般質問

9月
定例会



町の存続と未来のため、 「長尾根のバイパス」等の 早期事業化実現を！

猪野 武雄 議員

質 町のコロナ対策ワクチン接種見直しについて伺いたい。

答 国からは、12歳以上の人口の8割に相当するワクチンが配送される見込みであり、11月末までに2回目の接種が完了できる。

質 静岡県熱海市伊豆山地区の土石流災害では、27名の犠牲者を始め、多くの建物等に甚大な被害が生じている。当町においても、災害危険箇所が少なくなく、中には、適切な避難場所すらない地域がある。対応策を伺いたい。

答 倉尾地域では、緊急避難場所の指定はあるが、指定避難場所がない状態である。そこで、「倉尾けんこう館」を指定避難場

所とすべく、急傾斜地崩壊対策工事の実施を県土整備事務所へ要望中である。

質 今秋、大滝トンネルの開削工事が始まると、当該トンネルの掘削残土を埋立て利用した荒川贄川地内の県道のバイパス工事が促進される。当該大滝トンネルの次には、長尾根バイパス（トンネル部を含む）等の整備が確実に実施されるよう期待したいが…。

答 県が国に対し行う、令和4年度予算概算要求の中に新規事業化が盛り込まれたことで期待をしている。構想変更に伴う長尾根バイパス等の整備と共に、同バイパスにアクセスする千束峠の線形改良等と一緒に実現できる

よう、しっかりと要望活動に努めていく。

質 観光ポイント等には、公衆トイレの整備が欠かせない。因みに、栗尾バス停付近には公衆トイレがなく、仮設トイレが近くの遊園地内に置かれて



免疫力を高める 母乳育児について

齋藤 維 議員

質 母乳育児について現状ではどのような支援をされているか伺います。

答 母乳育児については母親と赤ちゃんの双方にとって多くのメリットがあることから、保健師による妊産婦訪問の際に、チラシをお渡しして「母乳の大切さ」を説明しております。また助産師が行う乳房マッサージ及び育児相談の費用を一部助成し、母乳育児の支援を行っているところがございます。

質 母乳育児の一番のメリットは、赤ちゃんの免疫を上げることですが、メ

いる。このトイレは、上栗尾地域の女性の奉仕作業により維持されている。おもてなしの推進には、本バス停近くに衛生的な常設トイレが必要だが…。

答 検討課題として対応したい。

リットはそれだけではありません。お母さんが母乳をあげることに、食べた物がおっぱいを作ることを体感でき、食べ物を作るといふことはもちろんみなさん分っていることですが、その食べる物の質を考える機会はありません。お母さんがその経験をするには非常に大切なこと、お母さんが子どもや家族の食べる食事の責任を担っているのは是非経験してほしい。コロナ感染症が

広がっている現在、子どもから大人まで免疫を高めていくことが大切。厚生労働省も言っています。ワクチンは感染予防をするものではなく発症の予防をするものです。で、コロナ感染予防を進めていく上でワクチンのみだけではいけないのです。コロナ感染予防、町民の健康を考える上でも免疫力を高めることにポイント置いて施策を考え実施していく事が大切です。母乳育児についてチラシを作った説明していたらいいと思うのですが、母乳育児について今一歩踏み込んだ施策、母乳育児が進んでいくように力を入れていただきたい。いかがか伺います。

答 母乳育児は大切なものと考えております。母乳はウイルスや細菌を防ぐ働きや、疾患を予防したり健全な発育に必要な成分で満たされているので、今後も母乳育児については更に深めて推進していきたい。



「次代へ歩む新小鹿野町の創造」生徒児童の交通安全対策について

笠原 義行 議員

質 千葉県八街市で起きた交通事故で、児童5人が死傷したことを受け、登下校時の交通安全について全国的にさまざまな対策の見直しをしていると思います。当町でも昨今、庁舎建設、災害復旧工事等で、大型車をはじめ、多くの工事車両が町内各地で散見します。町の道路状況に不慣れな運転手もいるのではないかと感じます。悲惨な交通事故を防ぐため、どのような対策、また公共工事請負業者などへ、どのような指導をしているのかお伺いいたします。

答 生徒児童の通学路における安全確保のために、秩父県土整備事務所事務局となり「地区通学路安全検討委員会」が設置されており、通学路にお

ける交通安全施設等の点検を行い、計画的な通学路整備を実施している。6月頃から7月末にかけて、教職員、保護者等の協力を得て通学路の点検を実施し、各小中学校等から50件の指摘箇所があり関係各所と検討を行い対策を講じていきたい。

質 近年、全国各自治体で設置されている「お悔やみコーナー」というものがあります。ご家族等が亡くなった場合、ご遺族の方は悲しみに暮れる間もなく、各種手続きに追われます。多岐にわたる手続きや相談等一括して支援できる窓口は、ご遺族の負担軽減はもちろん、終活を考えている方々の不安を取り除けるのではと考えます。小鹿野町としては今後このようなサ-

ービスをどのように考えているのかお伺いいたします。



住民に寄り添う、伴走型サービスの提供を

高橋 謙治 議員

質 町では行政相談、法律相談、人権相談など多くの相談窓口を設置してま

すが、相談内容が複雑な場合もあると思います。そこで住民に寄り添い、伴走型で一緒に考え、相談できる部署の創設をし、住民の困りごとの解決を

ピスをどのように考えているのかお伺いいたします。

答 現在全国で「お悔やみコーナー」を設置している自治体は増えてきている状況です。町としては、今までも行ってきた総合案内窓口としての業務を精査し、関係各課と連携を図りながら案内、相談対応をより充実し、手続き等に関してわかりやすい窓口が構築できるようにさらに検討していく。

支援する職員（仮称：よりそう係）を配置したらどうかと考えますが、町の考えをお願いします。

質 町では対象者ごとの相談体制の充実を図って参りましたが、社会情勢の変化や、福祉課題の一層の深刻化・多様化する中で、相談件数も年々増加する傾向にあります。

答 相談者の立場に立ち、寄り添って相談に応じることは非常に重要な基本的なことだと理解しており、役場の業務の根本であると考えております。

創設については、人材の育成等の課題などもありますが、相談体制の充実、相談員の質の向上などに努めることが重要であると考え、既存の相談支援機関等との連携により、対応を進めていくこ

とが効果的で効率的と考えます。

質 高齢化となり、文章を読んだり、書いたり、複雑な事をするのが困難になるので、相談に乗ることが非常に重要で、表面的な手続きのみ出来れば良いということではダメです。

相手を深く理解し、親身になる事が、これから非常に重要になります。住民生活課の総合案内窓口の見直しをするというところで、「よりそう係」を検討いただきたいと思いましたがいかがですか。

答 新庁舎建設後に水先案内人的な職員の配置はできると考えます。

また全体の困りごと相談等の総合的な窓口は、現時点では住民生活課の総合相談窓口をしっかりと充実して、対応をしていくことが大事だと思っております。検討していきたいと存じます。



・国保、子どもの均等割、全員免除を
・生理用品、学校トイレに設置を

出浦 正夫 議員

質 子育て支援について伺います。現在、小鹿野町では人口が11000人を下まわり、本年度の出生者が20人と予想されるなど極めて深刻な事態となっています。

そこで子育て支援がいつそう重要になっています。国民健康保険税のうち、子どもへの均等割賦課については全員を免除することを求めますが町長の考えを伺います。

答 当町におきましては、少子化社会の対応と子育て支援の立場から、令和元年度より、19才未満の第3子以降の均等割を免除する「多子世帯減免制度」を政策に取り入れ、実施しており、令和2年度におきましても22世帯27人が減免対象となったところ です。

質 子ども全員の均等割を免除した場合に新たに必要となる予算はいくらになりますか。

答 子どもの人数は204名、金額は261万7100円となります。

質 261万円余で実現できるのですから、子ども全員の均等割は免除する必要がありますと考えますが町長の考えを伺います。

答 強い要望をいただいておりますので、「子どもへの均等割賦課についての全員の免除対応」につきまして、国や他市町村の動向に注視しながら研究を続け、慎重に検討して参ります。

質 小中学校の女性用トイレに生理用品を配置する必要があると思いますが、考えを伺います。

答 新型コロナウイルス禍で経済的

理由により生理用品を用意することが困難な「生理の貧困」状態となり、児童生徒の学校生活に支障をきたすことが懸念され

理由により生理用品を用意することが困難な「生理の貧困」状態となり、児童生徒の学校生活に支障をきたすことが懸念され

れております。県から提供された生理用品4000枚を学校の保健室、トイレにすでに設置し、有効に活用しております。

■ 議長交際費の公開 ■ 令和3年7月～9月

7月8日	2021原水爆禁止国民平和行進協賛金	3,000
8月15日	眞下登元議員新盆見舞	10,000
令和3年度 支出合計		16,000

議会の傍聴をしませんか！

町の議会は、年4回の定例会（3月・6月・9月・12月）と、必要に応じて臨時会が開かれます。

町政の動きを知るためにも、気軽に傍聴してください。

次回定例会は、12月上旬に両神庁舎で開催予定です。

※小鹿野文化センター・両神ふるさと総合会館のテレビモニター中継もご利用ください。

議会会議録が閲覧できます！

小鹿野町議会ホームページで、平成21年以降の議会会議録が閲覧できます。

ぜひ、ご利用ください。

右のコードまたは「小鹿野町議会」で検索ください。



編集後記

肌寒くなり秋らしくなってきました。

十月十日執行の町議会議員選挙に於て、初の無投票当選が決まりました。

二年間、編集委員を務めてきましたが議員の改選により、次号からは新しい編集委員会による発行になります。

コロナウイルスが皆様のご努力により収束に向かう気配ですが、気をゆるめず終息するまで頑張りましょう。

皆様に議会の実情をお伝えしようと努力してきましたが、いかがだったでしょうか。今後も議会だよりをよろしくお願い申し上げます。

▼議会だより編集委員会

- 委員長 高橋 謙治
- 副委員長 山中 豊彦
- 委員 加藤 喜一
- 委員 強矢 好光
- 委員 黒澤 光司
- 委員 猪野 武雄